

11月15日は、檀原高校の創立記念日です。

檀原高校の開校は昭和50年(1975年)4月1日ですが、創立記念日は11月15日です。「創立記念日が〇月〇日」という理由は、各学校によって様々なようですが、本校の場合は、開校前年の昭和49年の同日に「校名を『檀原高等学校』と決定した」という理由であることは、昨年度にお知らせしました。

今年度は、昨年度には割愛した開校前後の様子などについて、さらにいくつか紹介したいと思います。(昨年度の原稿は本校のHPにアップしています。)



校名決定の約2週間後の28日、本校の住所として「県内で28番目に(2)開校された県立高校」なので建設敷地内に含まれていた番地から「282番地」を選んだ!というウソのような、しかし本当の話が残っています。(正式な記録誌『創立十年誌』)に記載があります。) そういえば、本校の電話番号下4桁は8282ですので、これにも意図的なものが感じられますね。



そして、その一週間後の12月4日には校章が定められています。対抗案として「大和三山」を表す3つの山の連なりに「高」の字を重ねた図案が挙がっていたそうです。さて、どんな図案だったのでしょうか? 少し探してみたのですが残念ながら見つけれませんでした…。



続いて、翌年の2月15日に女子の制服が決定されました。正面玄関を入った廊下の展示棚のケースにミニチュアが展示されていますが、現在とは違うデザインの紺色の三つ釦のスーツに明るいブルーのボウタイでした。(平成26年(2014年)度入学生から現行のデザインに変更されています。) 男子の制服は現在と同様の黒の詰め襟、学年章は現在も続く1年生「F(Freshman)」、2年生「J(Junior)」、3年生「S(Senior)」と決まりました。



【正面玄関前でテープカットを待つ様子】

春めきははじめた3月15日、檀原高校初の入学者選抜検査が、後に自教室となる北館の2~3F(この時点での校舎は上の航空写真のように北館と東館だけのL字型です。)で実施され、19日に合格発表が行われました。そして、年度があらたまった昭和50年4月10日、第1期生360名と保護者、教職員が見守る中、正面玄関前で、来賓、校長、生徒代表らによるテープカット、続いて1期生は図書室!に移動し、開校式、入学式が挙行されました。初代の校長先生が式辞の中で校訓「克己」を1期生に披露されたそうです。

「校歌」については、記録誌によると開校初年度の昭和50年6月18日に完成、7月

17日に披露とありました。(入学式にはまだなかった!?) 原案の段階での歌詞は3番までで、校閲、検討が重ねられる過程で一時的に4番!!も作られましたが、最終的には歌詞が精選されて現在の3番までになったようです。校歌の策定にも長い時間と多大な労力が注がれていたことがうかがえます。



【体育館(左)と南館(右)の工事の様子】

施設・設備の面では、開校1年目の教育活動と並行してさらに建設工事が続けられ、年が明けた昭和51年2月に南館と西館及び体育館が完成しています。そして、この年の4月に入学した2期生は南館の2~3F教室を、その翌年度の昭和52年4月入学の3期生は南館と北館の1F教室を自教室とすることとなり、全学年が揃ったこの年の12月に格技場と部室棟が完成しました。そして、2年後の昭和54年11月にプールが完成し、昭和50年4月の開校から4年半の時を経て、現在も使用している校舎、施設がほぼ整うこととなりました。

人は、自分が生まれたときのことはほとんど記憶にはありません。しかし、皆さんも何かのときに、それぞれ誕生日かなんかに、家族や親戚の方から「あなたが生まれたときに…」

みたいな話を聞かされたことがあるのではないのでしょうか。その時は、恥ずかしいような、でも、ちょっとほっこりするような…。おそらく、自分の記憶にはない小さいときのことを「誰かに覚えてもらっている」ということは、少し恥ずかしいけれども、やっぱり嬉しいことなのだと思います。もちろん、皆さんは檀原高校の誕生に居合わせたわけではありません。でも、縁あって檀高生となったのですから、例えばここで紹介したような檀高誕生時のことをいくつか知っていれば、おそらく皆さんの成長を目にしたときにご家族や親戚の方が感じられるモノとよく似たモノを、皆さんも檀高に対して持てるのではないかと思います。いかがでしょうか?

